

私の人生は、充実している。  
歳を重ねてこそ、  
そう思える  
世の中のために。



高齢者の豊かな毎日を考えることは、  
私たちのすぐ近い未来を考えること。

富山大学地域医療・保健支援部門が研究してきた  
富山型ポジティブヘルスについてご紹介しながら  
高齢者の健康と生きがいを地域でどう生み出し、  
支えていくかを考えるシンポジウムです。

地域保健シンポジウム

## 「高齢社会における健康とは— 生きがい・心・暮らしと地域」

日時：平成24年2月2日(木)13:00～17:00(受付12:30～)

会場：富山県民会館401号室

特別講演会：「高齢者の『生きがい』と健康」（共催：厚生労働省科学技術研究政策科学班）

基調提起：「生きる意味への意思—ライフスタイルから生きざまの時代（フランクフルト研究の展望）」

講演者：永田勝太郎〔財団法人国際全人医療研究所 理事長〕ほか

シンポジウム1：「地域の『心』の健康を考える」（共催：富山地域ストレス研究会）

シンポジウム2：「健康な『暮らし』と豊かな地域」（共催：富山大学地域生活学研究会）

定員150名  
参加無料

主催：富山大学地域連携推進機構 地域医療・保健支援部門

共催：厚生労働省科学技術研究政策科学班、富山大学地域生活学研究会、富山地域ストレス研究会

後援：富山県、富山大学医学部、富山大学杉谷キャンパス保健医療人教育室

# プログラム

13:00	開会挨拶：遠藤俊郎〔富山大学 学長〕 総合司会：丹羽昇〔富山大学 地域連携推進機構長〕
13:05～14:35	<b>特別講演会「高齢者の『生きがい』と健康」</b> （共催：厚生労働省科学技術研究政策科学班） 司会：鏡森定信〔富山大学地域医療・保健支援部門フェロー 富山大学名誉教授〕 <b>基調提起：「生きる意味への意思－ライフスタイルから生きざまの時代（フランク研究の展望）」</b> 永田勝太郎〔財団法人国際全人医療研究所 理事長〕 大学からの問題提起：「高齢化社会における現役の意味とケアウィル研究の展望」 藤森純子〔富山大学地域医療・保健支援部門 コーディネーター〕 地域からの問題提起：「社会の中の老後として－家族という視点から」 本田徹〔ほんだクリニック 院長〕
14:35～14:45	休憩
14:45～15:45	<b>シンポジウム1「地域の『心』の健康を考える」</b> （共催：富山地域ストレス研究会） 司会：立瀬剛志〔富山大学医学部保健医学講座〕 座長：倉知正佳〔富山大学 理事〕 <b>1) 「富山型地域ストレス低減の取り組み」</b> 小林俊哉〔富山大学地域医療・保健支援部門 特命教授〕 <b>2) 「地域の心の健康を支えるゲートキーパー支援」</b> 角田雅彦〔富山大学附属病院神経精神科 講師〕 <b>3) 「地域保健の現場から－地域住民の心の健康のために何が求められているのか」</b> 瀧波賢治〔富山市保健所保健予防課 課長〕 <b>4) パネルディスカッション</b>
15:45～15:55	休憩
15:55～16:55	<b>シンポジウム2「健康な『暮らし』と豊かな地域」</b> （共催：富山大学地域生活学研究会） 司会：須永恭子〔富山大学医学部地域看護学科〕 座長：竹内登美子〔富山大学医学部看護学科 学科長〕 <b>1) 「暮らしの中で健康を支えるもの－富山県の地域比較調査を踏まえて」</b> 立瀬剛志〔富山大学地域医療・保健支援部門 副部門長〕 <b>2) 「地域生活学から見る富山の暮らし－地域生活学拠点の必要性」</b> 竹内潔〔富山大学地域生活学研究会 代表〕 <b>3) 「暮らしの豊かさを支える地域における介護予防」</b> 一島志伸〔富山市角川介護予防センター 館長〕 <b>4) パネルディスカッション</b>
16:55～17:00	閉会挨拶：二階堂敏雄〔富山大学地域医療・保健支援部門 部門長〕

## ■参加申込みについて…

- ◎会場準備の都合から、事前申し込みにご協力ください。
- ◎お申込みの際は、必要事項を記入し、ファックスまたはメールでお送りください。

申込・問合せ：富山大学地域連携推進機構 地域医療・保健支援部門  
TEL 076-434-7139 FAX 076-434-5007 E-mail chiiki@ctg.u-toyama.ac.jp

## 参加申込書

FAX 076-434-5007 1月30日(月)までにお申し込みください。

■氏名 (フリガナ)

■所属

■連絡先電話番号